



今日のトピック 上昇に拍車がかかるアジア株式市場 更なる上昇には利益の大きな改善が必要か

ポイント1 米中交渉の進展から一段高 台湾は年初来30%超の上昇

- アジアの株式市場は、12月に入り上昇に拍車がかかる展開となりました。米中交渉が「第1段階」の通商合意に至り、12月の対中追加関税が見送られたことが最大の上昇要因です。英総選挙での保守党の大勝なども、投資家のセンチメントの改善に寄与したと考えられます。
- アジア株価指数（MSCI AC アジア（除く日本）、米ドルベース）は、12月17日現在683.24と4月17日につけた高値（686.12）は更新できていないものの、年初来の上昇率は14.5%です。中国、韓国も同様に高値の更新には至っていませんが、同19.1%、同9.8%でした。中でも台湾は、「情報技術」のウエイトが65%を占め、「情報技術」にけん引され、年初来高値を更新しました。同上昇率は33.1%を記録しました。

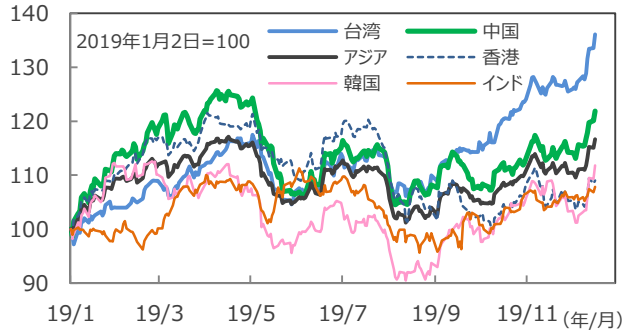
ポイント2 上昇が加速する「情報技術」 企業業績は緩やかに改善

- 主要セクターを見ると、「情報技術」が急激な上昇となりました。年初からの上昇率は「情報技術」が39.6%です。また、「一般消費財」も32.5%の上昇率でした。企業業績を見ると、「情報技術」の業績見通しが、9月を底に着実に改善に向かっています。

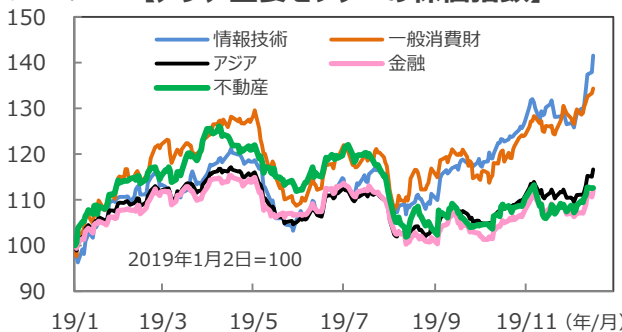
今後の展開 更なる上昇には利益の大きな改善が必要か

- 株価は堅調ですが、主要セクターの利益水準はアジア全体で見ても年初の水準に戻ったわけではなく、足元の株価水準は期待が先行していると考えられます。アジア株価指数の12カ月先予想株価収益率は13.7倍と過去2年間の平均値12.4倍を上回っています。また、台湾は18.8倍と同14.8倍を大きく上回っています。アジアの株式市場が更に上昇するためには、期待が実現して企業利益が大きく改善することが必要となりそうです。

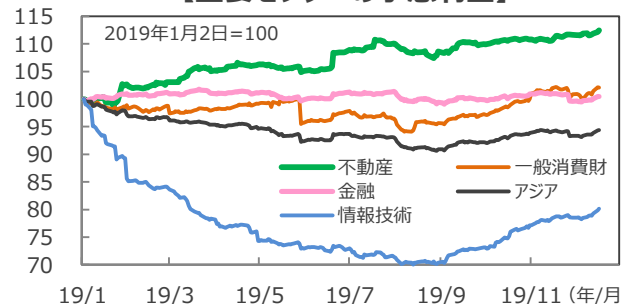
【アジア主要国・地域の株価指数】



【アジア主要セクターの株価指数】



【主要セクターの予想利益】



(注) データは2019年1月2日～2019年12月17日。国・地域の株価指数はMSCIベース、アジアはMSCI AC アジア（除く日本）、米ドルベース。予想利益は12カ月先予想。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここもチェック! 2019年12月16日 インド株式市場は高値圏でもみあい（2019年12月）
2019年12月13日 追加関税直前の米中合意報道で米株は高値更新

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。